

ぎょうだの 水道

あ
ん
し
ん
で
ゆ
と
り
あ
る
み
ん
な
の
水
道



水道事業のあゆみ

市民の生活用水は古くから浅井戸に頼ってきましたが、水質に恵まれず保健衛生上良質の飲料水を確保する必要が高まってきました。そこで、行田市は昭和33年深井戸を水源とした上水道の建設に着手し、昭和35年7月一部地域の給水が開始されました。その後、3回にわたる拡張事業を経て全市域上水道を達成しました。

また、将来の給水量の増大と水源の安全確保への対応として昭和60年から県営水道からの受水を開始しました。工業団地等の造成による給水量の増加に対応するための第4期拡張事業を経て、現在行田市の水道は、平成18年1月南河原村との合併したことにより約88,000人に対し、1日最大約35,000m³を給水しています。



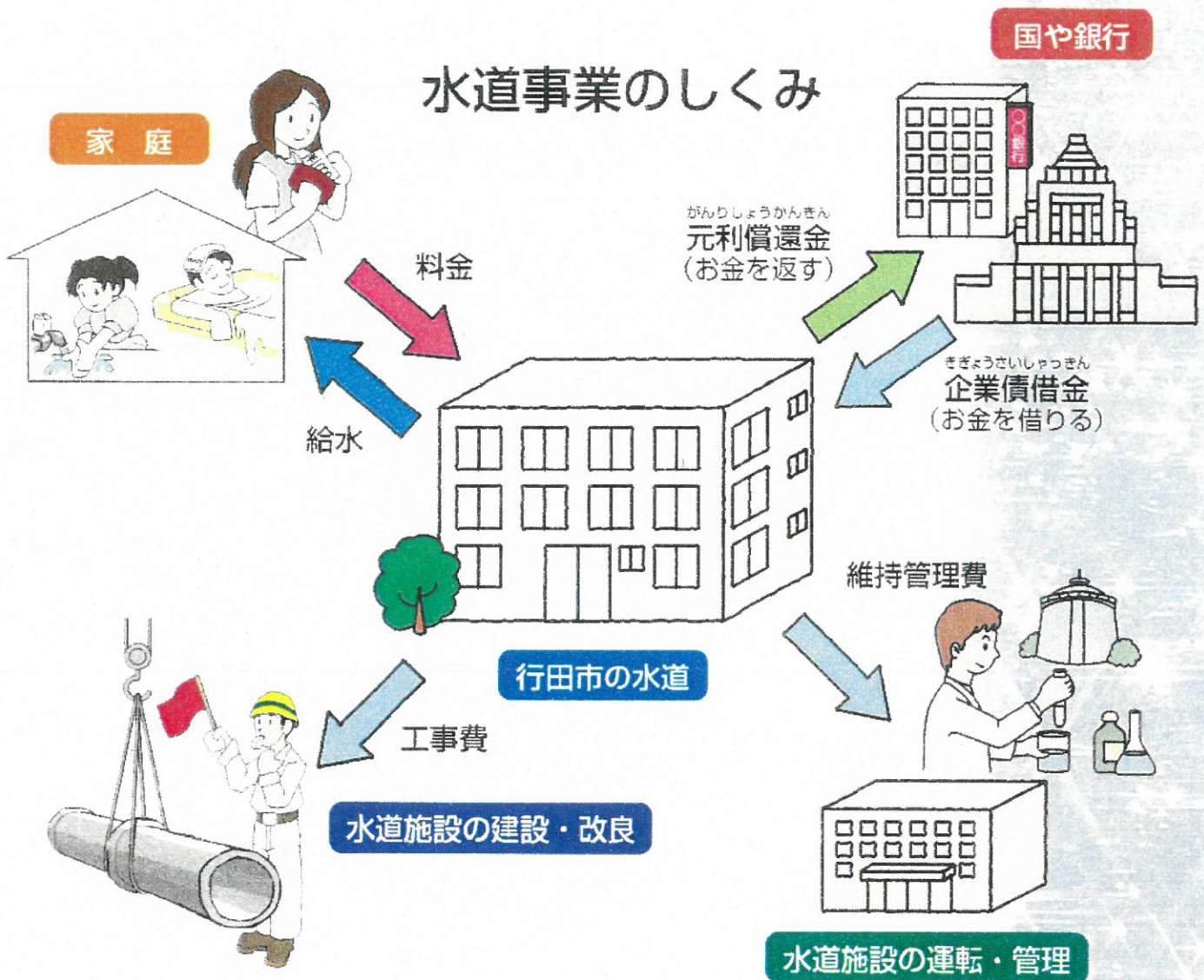
水道事業の沿革



- 昭和33年4月 創設事業着手
- 昭和35年7月 向町浄水場 通水開始
- 昭和43年4月 第1期拡張事業着手
計画給水区域 23km²
計画給水人口 48,000人
計画給水戸数 12,000戸
- 昭和50年4月 第2期拡張事業着手
計画給水区域 30km²
計画給水人口 62,500人
計画給水戸数 17,000戸
- 昭和55年4月 第3期拡張事業着手
計画給水区域 市内全域
計画給水人口 80,000人
計画給水戸数 22,000戸
- 昭和57年7月 東部配水場 通水開始
- 昭和59年4月 北部配水場 通水開始
- 平成5年2月 第4期拡張事業着手
計画給水人口 93,000人
計画給水戸数 32,000戸
- 平成10年4月 西部配水場 通水開始
- 平成13年2月 西部配水場に新水道庁舎完成

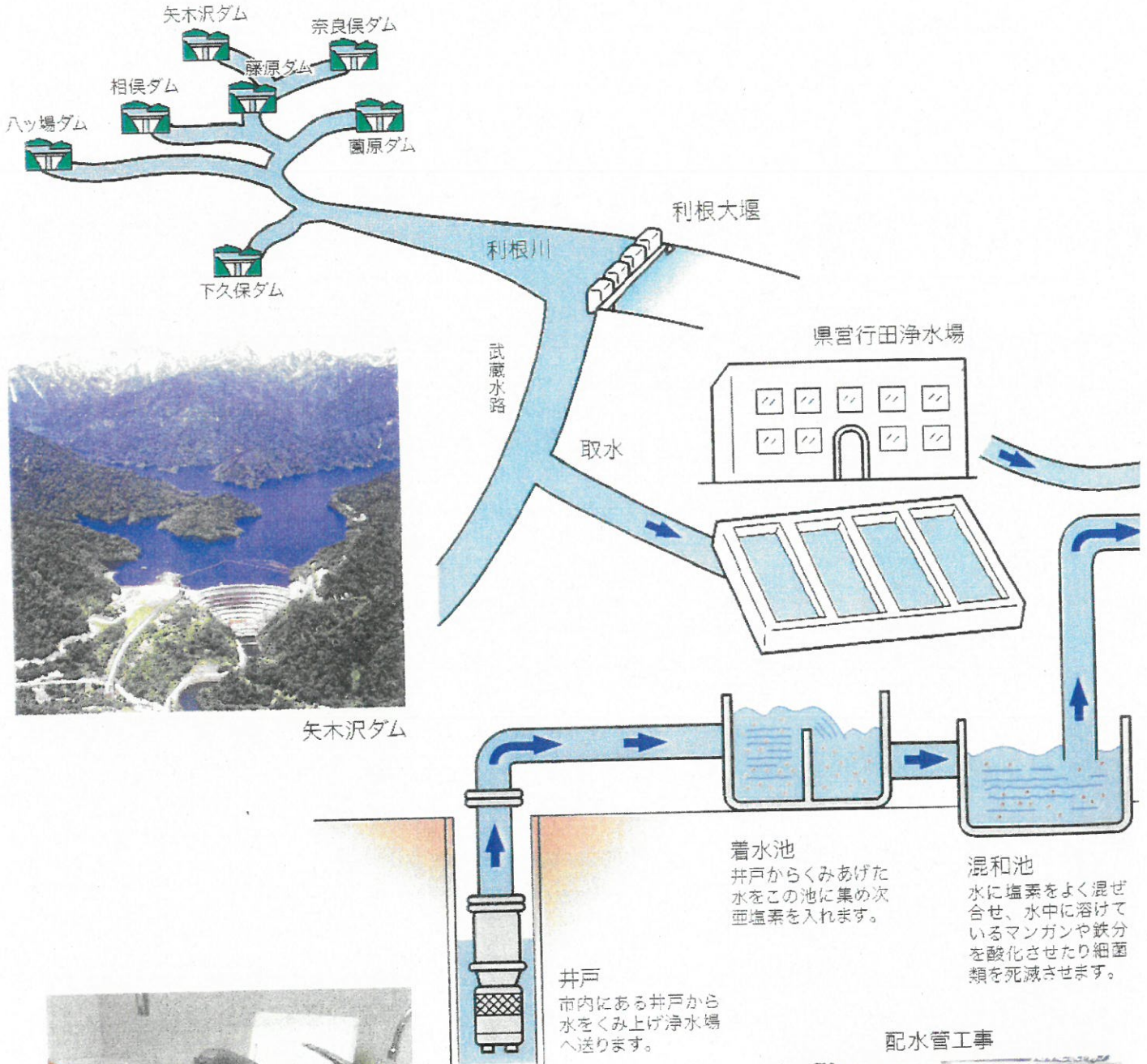
水道事業の経営

水道施設の建設や維持管理に必要な経費は、
みなさんからいただいた水道料金でまかなわれています。



のみ水ができるまで

地下水や川の水など自然の水は、そのままでは安心して飲めません。水道は、これらの水を安心して飲めるきれいな水につくりかえて、みなさんの家へお届けしています。行田の水道は、井戸から地下水をポンプでくみあげ消毒などの処理をした水と、県営行田浄水場できれいにした水をよく混ぜて給水しています。



矢木沢ダム



配水管工事

着水池

井戸からくみあげた水をこの池に集め次亜塩素を入れます。

混和池

水に塩素をよく混ぜ合せ、水中に溶けているマンガンや鉄分を酸化させたり細菌類を死滅させます。

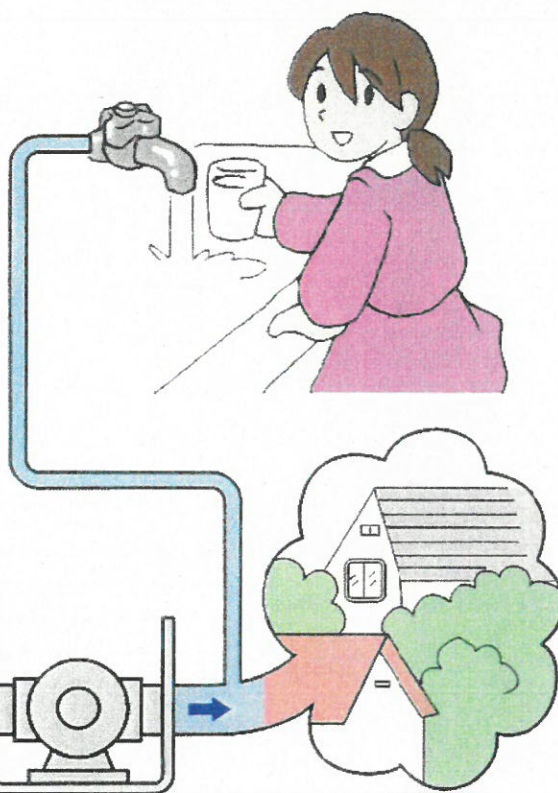
井戸
市内にある井戸から水をくみ上げ浄水場へ送ります。



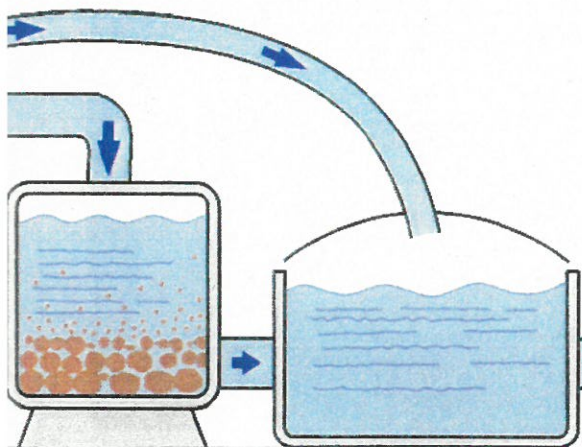
利根大堰



県営行田浄水場



浄水送水



ろ過機
 特殊加工した砂や大小の石などを積み重ねたタンクの中へ水を通してマンガン鉄分・細菌類やゴミなどを取り除きます。

配水タンク
 安全できれいになった飲み水をためておくタンクです。

配水ポンプ
 ためられた飲み水をみなさんの家へ送り出します。

向町浄水場

配水ポンプ



水道施設



東部配水場

所在地：行田市小針地内
完成年月日：昭和57年6月
給水能力：4,700m³/日

水源……向町浄水場から受水
配水タンク……4,000m³ 1池
配水ポンプ……37kW 3台
自家発電設備……150kVA 1台
遠方監視制御設備……1式

北部配水場

所在地：行田市小見地内
完成年月日：昭和58年3月
給水能力：4,700m³/日

水源……向町浄水場から受水
配水タンク……4,000m³ 1池
配水ポンプ……37kW 3台
自家発電設備……150kVA 1台
遠方監視制御設備……1式



西部配水場

所在地：行田市前谷地内
完成年月日：平成10年3月
給水能力：17,740m³/日

水源……向町浄水場及び県営水道から受水
配水タンク……No.1 6,000m³
No.2 6,000m³
配水ポンプ……110kW 4台
遠方監視制御設備……1式
自家発電設備……1000kVA 1台



向町浄水場

所在地：行田市向町地内
 完成年月日：昭和35年7月
 給水能力：40,000m³/日

水源…深井戸(φ300mm 深さ220m～)
 県営水道から受水

浄過設備……………5,000m³/日 7基
 配水タンク……………No.1 2,600m³
 No.2 2,900m³
 No.3 4,100m³
 県水受水池 6,100m³
 配水ポンプ……………45kW 4台
 110kW 4台
 集中監視制御設備……………1式
 自家発電設備……………600kVA 2台

南河原浄水場

所在地：行田市馬見塚地内
 完成年月日：平成8年9月
 給水能力：1,960m³/日

水源……………深井戸(φ300mm 深さ230m)
 県営水道から受水

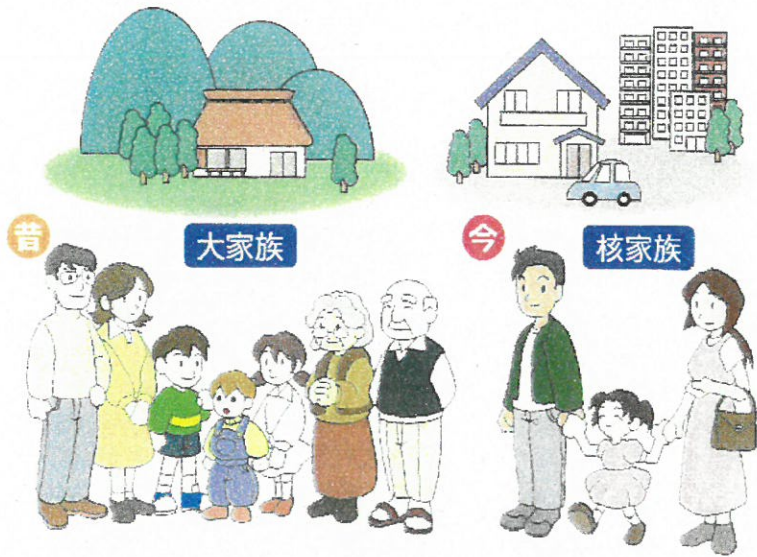
配水タンク……………1,120m³ 1池
 配水ポンプ……………15kW 4台
 3.7kW 2台
 自家発電設備……………200kVA 1台
 集中監視制御設備……………1式



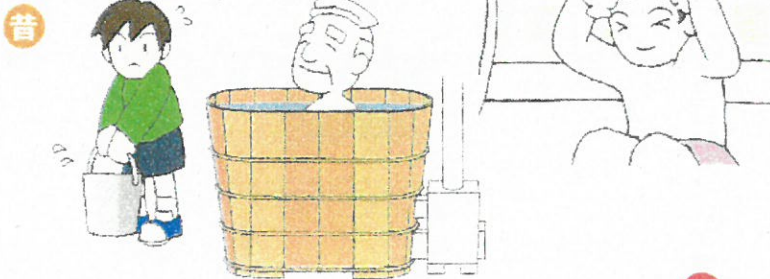
暮らしの水「今・昔」

私たちが何気なく使っている水も、昔と今ではずいぶん違うようです。

水は私たちの暮らしのあらゆる場面に使われ、衛生面や利便性が向上し一人ひとりが使う水の量も変化しています。



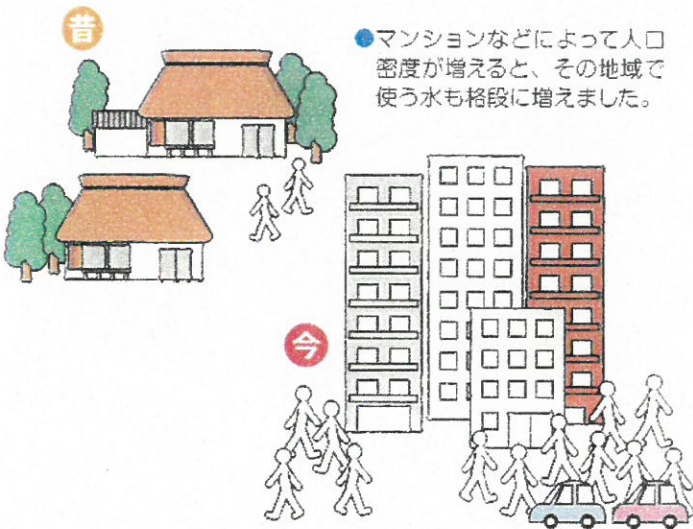
- 風呂桶を大家族で使っていましたが、今では少人数の家庭ごとに風呂釜のお湯を張っています。また、シャワーで快適さが増した反面、使う水も増えています。

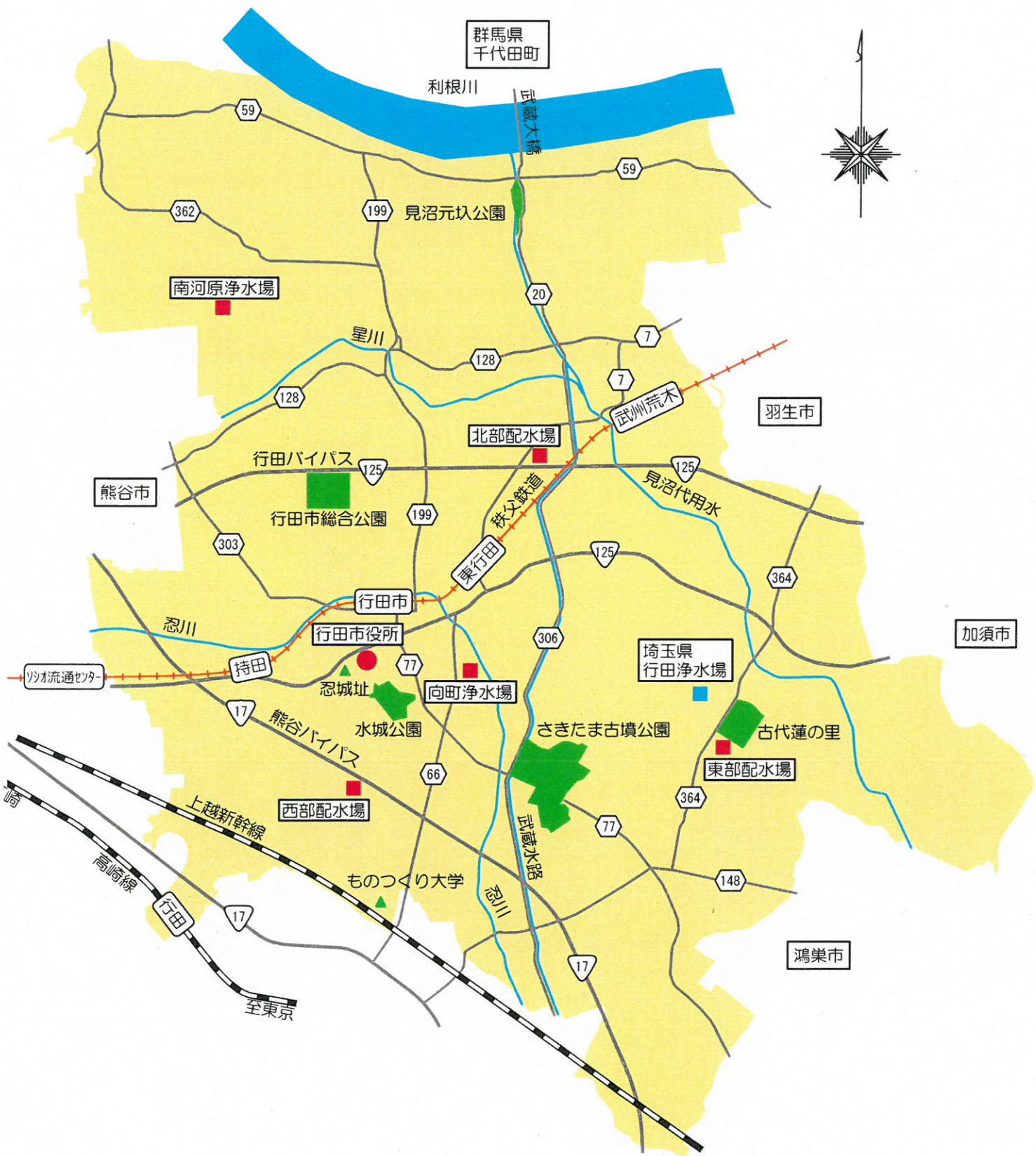


- 昔は井戸から水を汲んでいましたが、今は蛇口をひねればいくらでも水が出てきます。



- マンションなどによって人口密度が増えると、その地域で使う水も格段に増えました。





群馬県
千代田町

利根川

武蔵大橋

59

59

362

199

見沼元坎公園

南河原浄水場

20

星川

128

7

128

7

北部配水場

武州荒木

羽生市

行田バイパス

125

熊谷市

行田市総合公園

199

東行田

見沼代用水

125

303

忍川

行田市

行田市役所

125

364

加須市

リョオ流通センター

持田

忍城址

向町浄水場

埼玉県
行田浄水場

水城公園

さきたま古墳公園

古代蓮の里

東部配水場

西部配水場

ものつくり大学

武蔵水路

364

鴻巣市

熊谷バイパス

上越新幹線

高崎線

行田

至東京

17

17

148

66

306

125

125

128

128

199

59

59